

ふう けい き こう
風景紀行
越中八尾
 73
 富山森林管理署
 (各署の景勝地等を紹介)

おわら風の盆と白木峰

「富山署」富山市八尾地区(旧八尾町)市街地は、富山県のほぼ中央に位置し、古くは「富山藩の御納戸」と称されるほど豊かな町で、飛騨との交易や越中売薬などで栄えてきました。町内には、江戸



おわら風の盆

時代のたたずまいを残す古い町並みがあり、諏訪町通りは日本の道百選に選定されています。また、町並みを歩くとき道の両側には火防・流雪用水路「えんなか」と呼ばれる用水があり、水の奏でる音は、日本の音風景百選に選定されています。

この八尾地区では、毎年九月一日から三日にかけて全国から二十万人以上の観光客が訪れる「おわら風の盆」が開催されます。この祭りが行われる二百十日の前後は、台風の到来が多く、昔から収穫前の稲が風の被害に遭わないよう、豊作祈願が行われ、この祭りが「風の盆」と言われていたそうです。

祭りの情趣を最も堪能できるのは、踊り手、唄い手、伴奏者が一団になって坂の多い町の道を進む町流しです。無言の



白木峰から浮島に至る登山道(野積国有林)

踊り手たちが洗練された踊りを披露し、越中おわら節に哀調ある胡弓の音色が添えられ、来訪者を魅了します。

八尾地区の南部、岐阜県飛騨市河合との県境には野積国有林があり、白木水無県立自然公園に指定されています。白木峰の山頂一带は、ゆるやかな起伏の草原で散策道が整備され、ハイキングや自然観察を楽しめます。ニッコウキスゲ、コバイケイソウ、イワイチヨウなどの高山植物が開花する六月中旬から七月中旬頃が一番の見頃です。山頂から木道を歩いていくと高層湿原(池塘)を見ることが出来ます。一の池、二の池、三段の池、消滅の池があり、木道の終点には「浮島の池」と呼ばれる池塘があります。

白木峰の標高は一、五九六メートルあります



浮島の池(野積国有林)

が、標高一、三五〇メートルに駐車場があり、山頂までは一時間ほどで行くことができます。

◆アクセス

八尾市街へは、富山ICから車で三〇分

白木峰登山口駐車場までは、八尾町市街地から車で五〇分

【周辺散策】

八尾市街

坂の町美術館、越中八尾観光会館(曳山展示館)、八尾おわら資料館

白木峰周辺

仁歩ほたるの里、大長谷(おおながたに)温泉、杉ヶ平キャンプ場、二世紀の森など